

# 「中間支援組織」の充実で非営利・協同を広げよう

## NPO法人だって中間支援機能があって増えた

1998年施行された特定非営利活動促進法（NPO法人）は非営利で公共性のある事業をおこなう団体が取得できる法人制度として施行されました。

国は、施行当初から特定非営利活動を促進する中間支援機関を全国に設立し、特定非営利活動の促進業務を委託しました。20年近くたった今、この甲斐あってかNPO法人は全国に50,000団体近くに増えています。「新しい公共」として行政とNPOとの協働は多くみられるようになり、特に福祉分野では、行政サービスや企業が行うサービスを補う第3のセクターとして期待されてきています。

法律が制定されたころは設立のための支援が中間支援組織の主な役割でしたが、今では行政との協働の推進、NPOとNPOを結び、コーディネートし事業の拡大への役割もはたしています。

こうした中間支援組織の役割は、競争原理の社会から生み出される格差、差別、不安定といった社会のひずみを埋める役割を担う事業所を支援し、社会の安定化を図り、健全な社会を創る役割を持っています。

## 手を携えてワーカーズ・コレクティブの中間支援組織の充実を！

一方、ワーカーズ・コレクティブは法制度がまだなく、働く人の協同組合を促進する機関も国が設置するものはこの日本にはありません。

全国に散らばるワーカーズ・コレクティブは都道府県ごとに連合組織を形成し加入する団体が資金を出し合い、助け合い、新しいワーカーズを増やし、事業の健全化を支援し、法律の整備を求めて活動しています。

近年、雇用の現場は厳しさを増しています。働く意味が薄れがちな時代に、非営利で地域に必要なものやサービスを提供するワーカーズ・コレクティブは働く目的、成果が感じられる働き方です。また雇われて働くことから、自分たちで必要な事業を生み出し、地域を元気にし、人々の暮らしを豊かにする働き方は、様々な分野で期待されつつあります。営利企業で働き続けてきて、疲れてしまった人など、ワーカーズ・コレクティブの働き方に関心を示す人は増えています。

最初の設立から30年、そろそろ協同組合陣営が手を携えてワーカーズ・コレクティブを増やすための機関、中間支援機能を作っていけないものでしょうか？

企業とワーカーズ、行政とワーカーズ、協同組合とワーカーズ・コレクティブ、多様な連携で非営利・協同の分野を広げるための機関、中間支援組織の充実が進めば、もっとワーカーズが増え、地域社会も元気になるはずですよ。

事務局長 浅草秀子

## 力を合わせて、できることいろいろ

ホップ・ステップ・ワーカーズ  
起業マニュアル  
「ホップ・ステップ・ワーカーズ」  
¥500 A4 P28

お申し込みはFAXで  
048(844)0221  
ワーカーズ・コレクティブ起業相談会  
2時間¥5,500

あったかマルシェ  
2/21日 14:00-16:00  
志木市 志木市民センター  
ワーカーズの祭り  
「あったかマルシェ」  
福祉事業パンフレット



起業相談会を受けて準備中！  
市民の手づくりこうみん館  
「きらきら」  
加須市  
住んでいる誰もが  
安心して暮らせるまちづくりを目指します

生協の活動で出逢った同じ思いを持つ仲間が集まり「ワーカーズ・コレクティブ準備会」を立ち上げました。仕事の目的は何か？具体的にどんな内容で収入を得ていくのか？働く上でのルールは？必要な資格は？出資金はどうする？等々、ひとつひとつみんなで確認しながら準備を進めています。同時に私たちが考えている「誰もが気軽に集えるような地域の拠点創り」への熱い思いを地域企業の方たちに丁寧に説明して歩いています。少しずつですが、理解と協力を示して下さる会社が増えてきました。なかなか思うように進まず不安な時もありますが、起業するために足りない知識は「埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会事務局」の方が分かりやすく指導してくれます。生活クラブ生協にもチラシ配布など協力をいただいています。ひとりでは出来なかったことが、みんなと一緒に叶えられる気がしてきました。事業開始実現に向けてワクワクした気持ちで、今とても楽しいです。今秋には本格的にスタート出来るようみんなで呼吸を合わせてがんばっています。



第1回企画 パソコン教室

代表 愛智雅美

## 祭りから広がる運動

あったかマルシェ 2/21志木市  
ワーカーズの働き方を発信



連合会の1つの機関会議が実行委員会を務めた「祭り」あったかマルシェでは、ワーカーズの手作りの品や惣菜の販売と合わせて、求人コーナーを設けて働き方をアピールしました。雇われずに主体的に働くことのできる「もう一つの」働き方に対して、興味を持ってくれる方が必ずいます。

今後も経験・知識を中間支援組織で蓄積して、情報発信のやり方などを工夫していくことが大切です。

## 連合会ってなんで必要？ 点と点を結び、助け合い、事業を広げるために

埼玉の地にワーカーズ・コレクティブが誕生したのは30年ほど前。生協からの委託業務を行う事業所が第1号でした。

当時、まだそれほど多くはないワーカーズ・コレクティブは様々な困難にぶつかりました。自分たちで資金を出し合い、自分たちで働き方を決める私たちの働き方は、日本にはまだ規定する法律もなければ事例も少ないので問題解決の道も見出しにくいものでした。

コンサルタントに相談してもどこか違うし、一般の会社を標準に考えてそれも違う。ワーカーズはワーカーズ同士で、問題を共有し、解決策を見つけていくことが最も必要だと気付くのにそれほど時間は必要ではありませんでした。

まとまれば怖いものなし…法律だってつくれるかも…。賃貸物件の借主との交渉もまとまることで成果を出したい。一つの力は弱いけれど、まとまれば強くなれる、「ワーカーズ・コレクティブここにあり!!」と存在感も大きくなります。

17年前、埼玉にあるワーカーズがまとまり、連合会を形成しました。今日、中間支援機能としてさらに発展が期待されています。

会長 井瀧佐智子

## 中間支援事務局ワーカーズ「ピアズねっと」 頑張るワーカーズを応援

2014年7月、ピアズネットはワーカーズ運動の中間支援のために設立されました。それまで個人に委託されていた連合会事務局を組織として受託したのです。業務は、運営委員会管理、起業支援、事業支援、共同仕入事務、その他ワーカーズ運動に寄与することなどなど。しかし一番大切なことは、経験、知識を組織として蓄え、次につなげていくことです。そのためのシステム作りも必要です。

ピアズねっとは現在メンバーを募集しています。ワーカーズ運動の中心といっても過言ではない連合会事務局に参加し、社会の矛盾に目を向け、さまざまな現場で頑張る方たちの姿を見て応援していく経験、してみませんか。

代表 福島せい子